

広域連携共生・対流等推進交付金事業の概要

プロジェクト名	カーナビを通じたグリーン・ツーリズム情報発信プロジェクト		
実施団体名	カーナビG T協議会	代表団体	(財)都市農山漁村交流活性化機構
現状と課題	<p>都市と農山漁村の交流を容易にし、交流人口を更に拡大するには、都市住民へ提供するグリーン・ツーリズム各種情報の整備とともに、利用者が交流をより円滑に実現できるような新たな観点からの情報提供手法の実験が必要がある。</p> <p>鉄道などの公共輸送機関が少ない中山間地域に向けては、そこでの移動手段となっている自家用車に着目し、カーナビを通してグリーン・ツーリズム施設の位置情報等を提供する実用性実験を行うことは効果が期待され、他の地域への波及も生じる。</p>		
プロジェクト (モデル構築) の概要	<p>そのため、農(海)産物直売所、農(漁)家レストラン、農(漁)家民宿、交流施設、観光農園、体験スポットなどのグリーン・ツーリズムデータを整備し、カーナビに必要となる緯度経度の位置情報等を取得・付加し、モデル地域で実用実験を行ない、成果を検証し、そのうえで全国版データを整備してカーナビ業界へ普及をはかる。</p>		
連携して取組む 必要性	<p>グリーン・ツーリズムの専門団体である(財)都市農山漁村交流活性化機構と、カーナビ業界への情報提供に実績のある(株)アデオスと、グリーン・ツーリズムの各種情報を整備・発信しており、地理的な条件が不利で車社会である高知県が連携してプロジェクトを推進する。</p>		
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン・ツーリズム各種基礎情報の整備 ・カーナビ向けグリーン・ツーリズムデータの整備 ・カーナビによる、交流現場へのアクセスの容易さ (施設によるアクセスの難易格差の解消) ・交流の容易さの実現による交流の一層の拡大 		
事業終了後の自 立的継続的な取 組の概要	<p>モデル地域での実証実験終了後、全国版のグリーン・ツーリズムデータを整備し、カーナビ用のデータに加工しカーナビ業界への普及をはかる。</p>		
本年度実施する 施策及び事業内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・カーナビ情報普及検討委員会の開催 ・グリーン・ツーリズム情報用データベースの整備 ・グリーン・ツーリズム情報の収集・整理とカーナビ用への加工 ・モデル地域でのモニターによる検証 		